

# 川口市立高等学校図書委員会 ライブラリーニュース NO.4 2026年1月号

担当 1年 森田

あけましておめでとうございます！

今年も素敵な作品たちに出会えますように……

さて、1月号は年の初めに読みたい「ミステリー」を集めました。

温かい飲み物と一緒に楽しみたい作品ばかり！

気になる作品を見つけてみてくださいね

## 「むかしむかしあるところに、死体がありました。」

著/青柳碧人(双葉社)」

皆さんも一度は耳にしたことがあるであろう、  
一寸法師やももたろうなどの昔話。  
そんな昔話がまさかのミステリーと融合！  
ハッピーエンドで終わるはずの昔話の裏側で起こっていた  
出来事とは……？  
一度読みだせば止まらない！  
本格ミステリーをどうぞお楽しみください!!



## 「そして誰もいなくなった」

著/アガサ・クリスティー 訳/青木久恵(早川書房)」

孤島に集められた、互いに面識のない10人の男女。  
彼らはそれぞれ「過去に罪を犯した」という共通点を持っていた。  
島に到着した直後から、不気味な童謡になぞらえるかのように、  
ひとり、またひとりと命を落としていく。外部と連絡は取れず、  
犯人は島の中にいるはずだが、人数は減り続け、  
ついには――。  
追い詰められていく人々の心理が剥き出しになっていく、  
本格ミステリーの不朽の名作。



## 「N 著/道尾秀介(集英社)」



6つの短編ミステリー“どの順番で読んでもいい”という  
これまでになかったミステリー小説。  
SNSで話題になっており、知っている方も多いかも。  
物語のかたちは6!=720通りも!順番を変えて何度も読むのも、  
家族や友達などと読了後に感想を交換するのも楽しみ方のひとつ。

※表紙画像は出版社の許可を得て掲載しています。

## コラム：ミステリーはサスペンス？

ミステリーとサスペンス。

2つの言葉の違い、いざ考えると説明するのが難しいような……？

ミステリー…謎を解き、犯人を捜し出す「論理的」が軸。

サスペンス…犯人が分かっている中で、どう追い詰めていくか。「心理的」が軸。